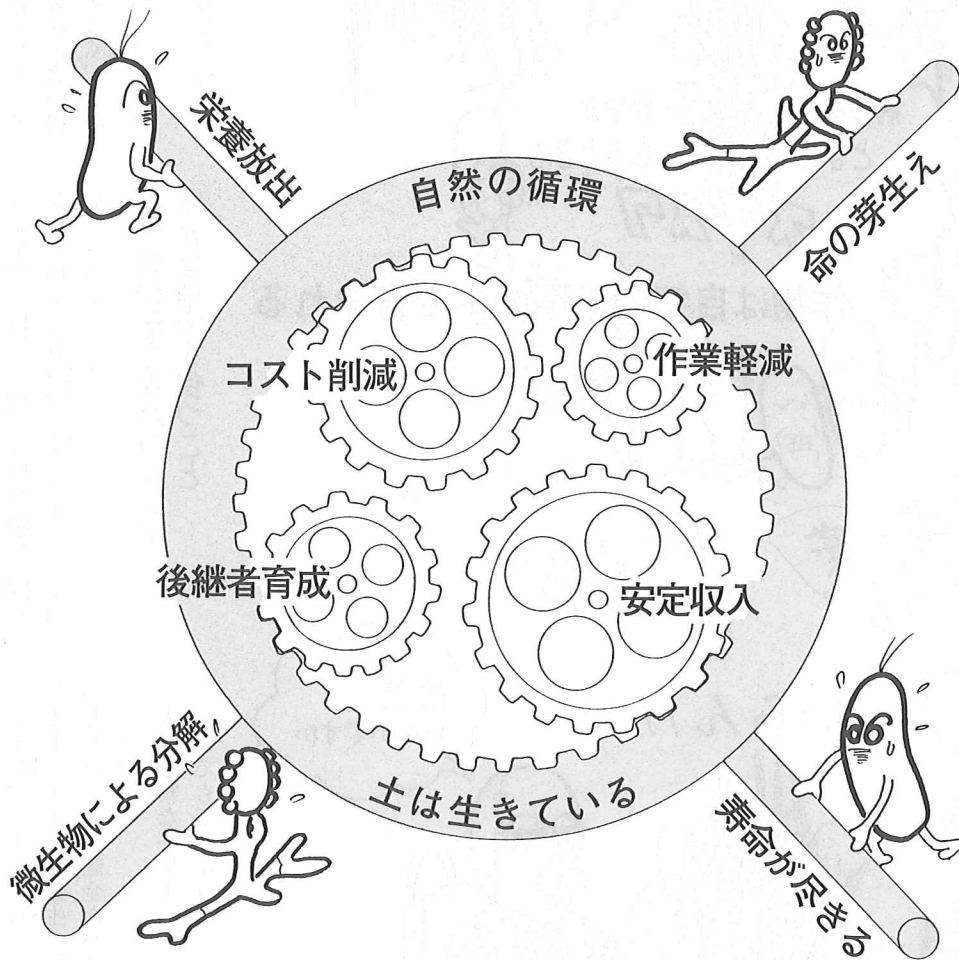


微生物バランスの維持で地力維持



微生物は自然の循環の主役

「きつと、そうだ」というような、仮説にしか過ぎないのです。はっきりしていることといたたら彼ら微生物も宇宙や地球と同じ自然の一部分であり、その中でお互いに支え合って生きているということだけなのです。

農業は他の業界よりも微生物との関係も深く、良くも悪くも自然の影響を多く受けます。ですから、それらによる負担をなるべく軽くし、少しでも安定的に生産性を上げるために多くの人々が知恵を出し、いろいろな技術や道具が研究・開発されてきました。しかし、それらはもと自然の力をうまく引き出してやるためであるはずなのに、そのことがいつ

彼らはさまざまな場面で、陰に日なたに作物の成長を助けています。まあ、ときにはとんでもない悪さをしでかしたりもしますが。しかし、こんなことを言っているのはなんですが、正直なところ、私たちは彼ら微生物については実際あまりよく分かっていないのです。それどころか、ほとんど知らないというのが事実です。いま世界のいろいろな所で彼らについての研究がされていますが、その種類や働きなどあまりにも量が多く複雑で、分かつていること「でさえ」「こうなんじゃないの」とか

微生物大百科

土と農業経営のための

最終回

微生物地位向上委員会

高密度に培養された微生物資材を利用する技術が、いま注目を集めている。微生物資材の農業利用は、従来の我われの常識を書き換える可能性すら持っている。その適切な利用技術のあり方が、考えられてしかるべきだろう。

この連載は、微生物資材の専門メーカーである(株)アラヤ（石川県小松市平面町へ115 ☎0761-24-5000）の研究開発・営業担当の社員グループが執筆するものである。（編集部）

農業は自然の循環の中にあり
その循環の担い手は微生物

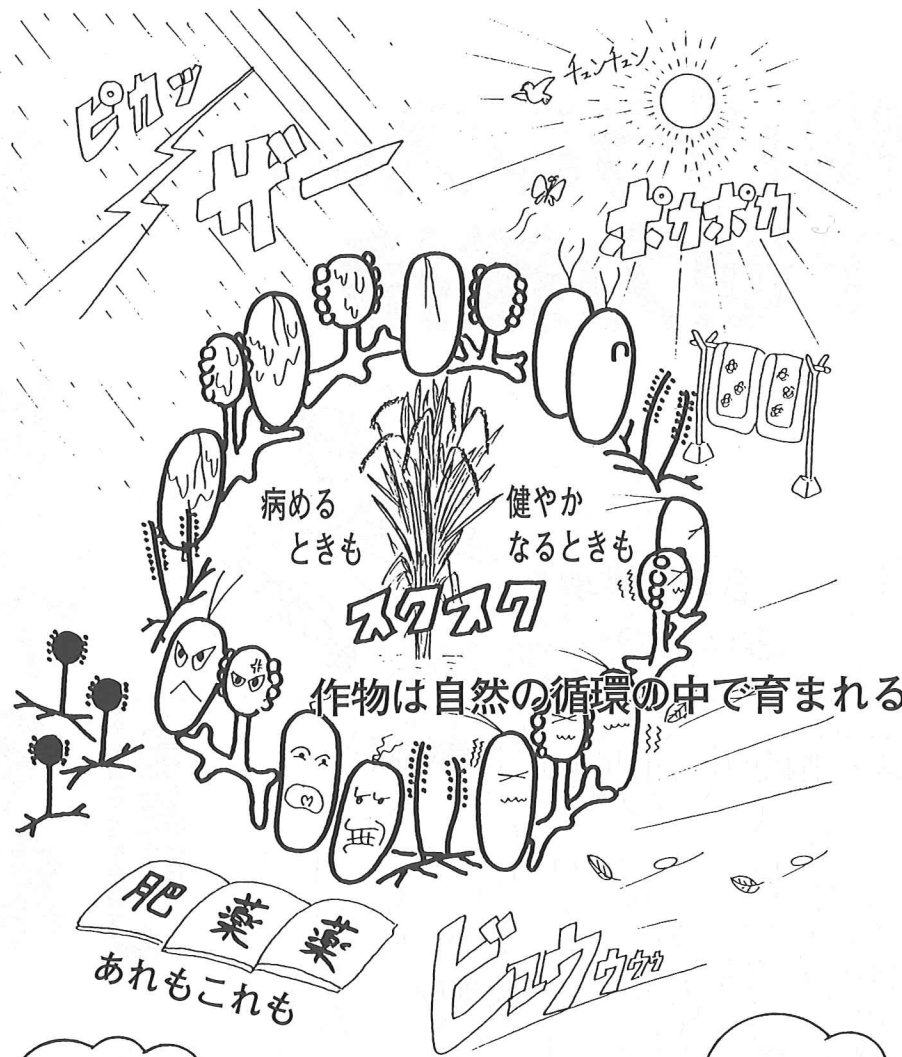
さて皆さん、この微生物大百科もいよいよ今回で最終回です。今まで微生物というものが農業の場面においてどのような形で作物と関わっているのかを紹介してきましたが、ご理解いただけましたでしょうか。

の間にかどこかに忘れ去られてしまっているのかもしれない。農業経営者の居場所は自然の循環の中にしかなく、その循環を回しているのは人間ではなくむしろ微生物なのです。病めるときも、健やかなるときも、彼

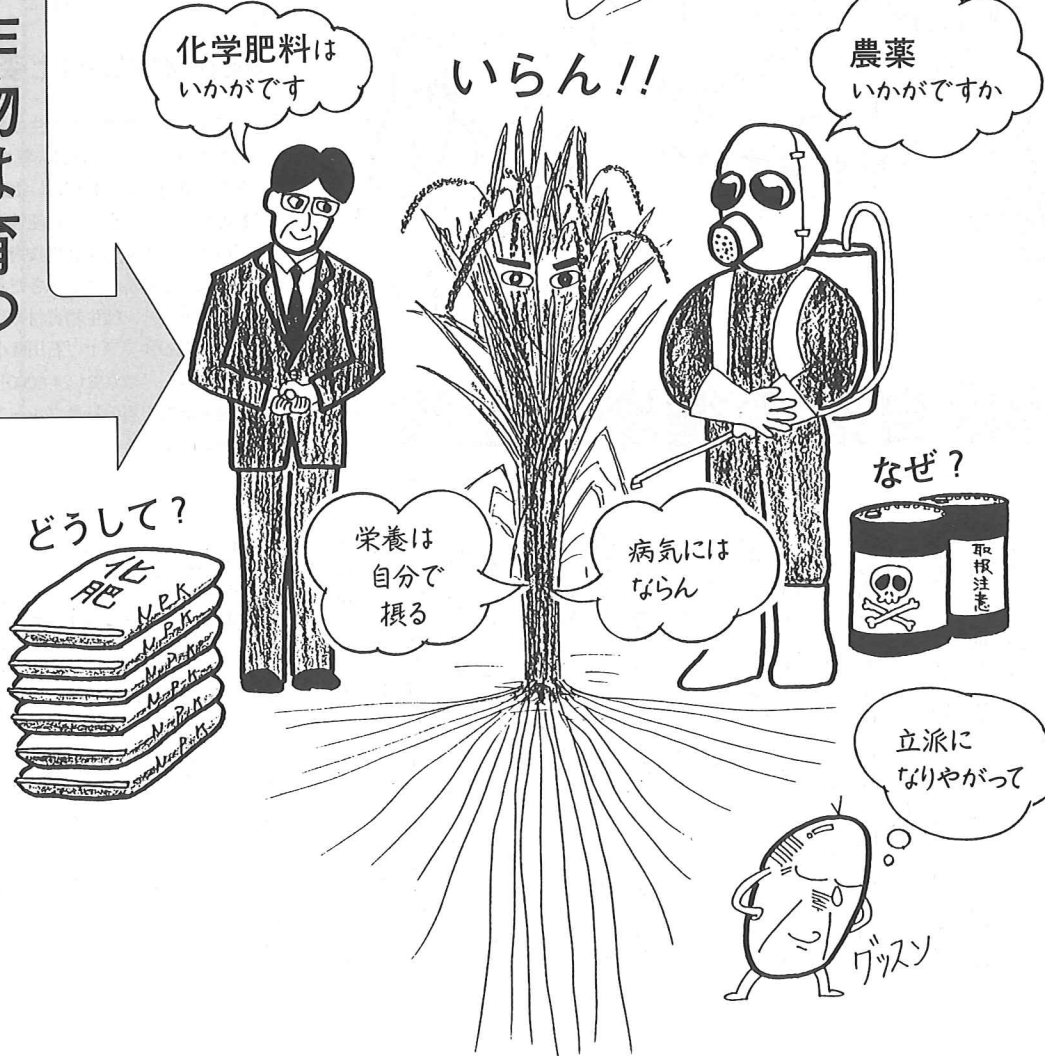
ら微生物は自然の循環という歯車を回し続けていくくれるのです。まさに「神の見えざる手」です。微生物の健全なバランスで豊かな地力を保つこと

しかし、そんな彼らも実は非常にデリケートでナーバスな生き物なので、ちょっとしたことで健全なバランスを崩してしまうのです。人が薬物などによって、体だけではなく心までもボロボロになってしまうことが

あるように、農薬や化学肥料の多用によって、取り返しのつかないことになることにもなりかねません。よく言われることですが、健康な体であれば農薬も化学肥料もそんなに必要ないってことでしょうか。それにそんな地



健全な土に健全な作物は育つ



作業の軽減効率化・穂肥刈り取り適期の延長

いーよ いーよ



力のある土ならば余裕があり、楽に作業もこなせます。
おっと、これは皆さん農業経営者の方々のほうがよくご存知ですね。
まあ、なんだかんだとお説教じみたことを申し上げてまいりましたが、これか

ら皆さんが作物を作っていくいろいろな場面で、
「ああ、こんな所にも微生物が活躍しているんだなあ」
と少しでも彼らのことにお心およばせただけならしめたもの、いやいや、幸



耕すは種まくためにあらず

いです。

それでは、皆さんの幸福と実りある農業経営をお祈り申し上げて、お別れのごあいさつとさせていただきます。
今度は圃場で会いましょう。
それじゃあ……。

